

|        |         |
|--------|---------|
| 陳情番号   | 1       |
| 付託先委員会 | 文教厚生委員会 |
| 審査結果等  |         |

令和7年11月14日

浜田市議会議長 様

住 所 島根県浜田市弥栄町  
氏 名 有田康夫

### 災害時における避難場所(小中学校の体育館)へのエアコン設置の陳情について

#### 【陳情の趣旨】

- 1 願意 (議会に対して求めることを記入してください。)

避難場所にもなる市内の小中学校の体育館のエアコンを早急に整備する事を求めて欲しい。

- 2 理由 (陳情に至った理由・背景などを簡潔に記入ください。)

令和6年度3月議会において個人一般質問で議員から質問があったが、執行部は「体育館のエアコン設置の為には、断熱工事などに多額の費用が発生する。また国の監査などで補助金の対象外となった場合のリスクが大きい」と答弁した。さらに「まず特殊教室エアコン設置を進め、令和10年度以降に体育館のエアコン設置については検討する」とした。しかしこれら答弁は正しくない。教育委員会の担当課長に確認したところ「断熱工事の積算はしていない。また積算に必要な体育館の床面積も把握していない」「国に補助金返還を求められた例は確認できない」と回答をもらっている。国が示している資料によれば、補助金対象となる、一般的な学校体育館の断熱工事として、窓に遮熱フィルムを貼る対策だけにした場合一施設100万円程度との試算もある。このように、市民の命に関わり、国の重点施策であることから、早急に実施してほしい。

執行部は、市民からの要望に対し、予算(財源不足)の問題を持ち出し、直ぐ直ぐの対応は困難と回答する事が多い。しかし今年度予算に美又温泉の整備に40億年を当てている。そのうち「デジタル温泉手形」に対して16億円を当てている。この政策は、市民の命を守る政策より優先順位が高いのか。国の重点施策より、より重要な政策なのか。全国ニュースでは、交付金の無駄遣いの例として、一番トップの見出しにすらされている。浜田市の恥を全国にさらす事は市民として辞めていただきたい。市長が一番に行なうべき政策は、市民の命を守ることである事に議論の余地は無い。

